

令和2年度 愛媛県ノーリフティングケア普及啓発セミナー

ノーリフティングケアとは ～考え方と取り組み方～

2021. 2. 15



愛媛県介護実技普及指導員
守谷 理佐（介護福祉士）
井下ゆかり（理学療法士）

セミナーに際して



このような機会をいただいたこと、
愛媛県、愛媛県社会福祉協議会に深く感謝申し上げます。

そして、長年に渡り、たくさんの情報をいただきました、

- ・愛媛県福祉サービス協会
- ・日本ノーリフト協会の保田淳子先生
- ・なちゅは時代からの下元佳子先生 ほかたくさんの

全国のノーリフティングケアに取り組んでおられる方々に
深く感謝申し上げます。

また、愛媛県介護実技普及指導員が多くの体験が積めるよう
協力をしてくださったメーカーの皆さまに深く感謝申し上げます。

「愛媛県介護実技普及指導員」について



愛媛県社会福祉協議会の事業として

1997年:「地域リーダー養成研修」

1999年:「介護実技普及指導員」の養成スタート

介護職員初任者研修(旧訪問介護員養成)等に携わる指導者の指導技術の向上を目的に実施されている

日本の介護現場の現状として、限られた人材で利用者の状況を見極め、多様なニーズに的確に対応するためには、根拠に基づいたチームケアの実践が重要

そのため、介護を目指す方や介護現場で働いている方にとって、介護実技普及指導員は、中核的な役割を果たすことが求められている

愛媛県内に現在20名在籍

(介護福祉士、看護師、理学療法士、教員など)

1999年(平成11年)より、愛媛県社会福祉協議会や地域で介護職員等に対して研修会や講習会を実施

2019年、

実施主体:愛媛県、運営:愛媛県社会福祉協議会にて「愛媛県ノーリフティングケア普及啓発モデル事業」がスタートする

愛媛県介護実技普及指導員が講師として活動している

「ノーリフティングケア」という言葉
まだまだ誤解されやすい

「ノーリフティングケア」
||

持ち上げないために、
引きずらないために道具を使うんでしょ

でも、準備に時間がかかるし...
今までの方法でもできてたから...

ノーリフティングケアとは

福祉用具を導入して
移乗や移動など動きのある行為だけを
見直すことではない
(ベッド⇄車いす⇄トイレ、ベッド上での移動など)

姿勢や表出されない感情を考えられること
利用者の生活すべてに安心・安全の意識を持つこと
そして、自分たちのところとからだも守る
安全に安心して暮らし続けるための考え方

このままの介護を続けていく
利用者・介護者双方のリスクを考える

愛媛県ノーリフティングケア 普及啓発モデル事業の目的

要介護高齢者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用と身体の機能・構造に即した介護技術を実践し、介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境作りを進めることにより、**要介護者及び介護従事者双方の負担軽減とケアの質の向上**を図り、介護従事者の**離職防止**や**介護人材の安定的確保**に資することを目的とする

- 介護従事者の離職防止
- 介護人材の安定確保

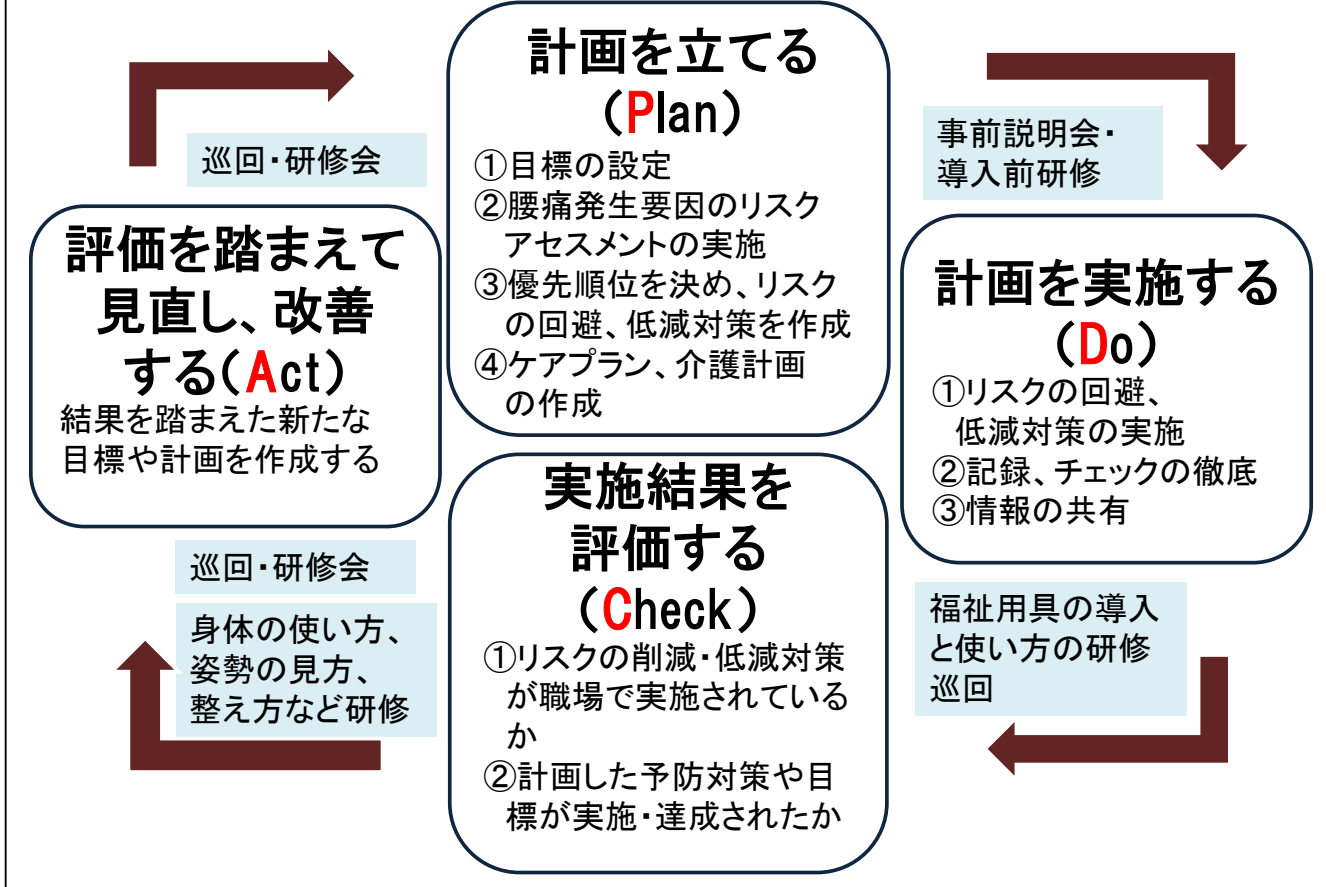
何をすればいいの？

- 要介護者及び介護従事者双方の負担軽減
- ケアの質の向上

具体的には？

- 要介護者の自立度を考慮した適切な福祉用具・機器の活用
- 身体の機能・構造に即した介護技術の実践
- 介護従事者が、腰痛など職業に起因する健康上の不安なく働くことができる職場環境作り

ノーリフティングケアモデル事業におけるPDCAサイクル



昨年度のモデル事業 研修会の様子

(今年度の取り組みはこのあとの報告会にて)

具体的な取り組み



昨年度のモデル事業 研修会の様子



姿勢の見方、整え方

講義で姿勢についての説明を聞いてから、実際に自分たちが体験



昨年度のモデル事業 研修会の様子



モデル事業で購入したターンテーブルで移乗

期間中に施設でリフトを購入！
4台をみんなで体験



事業所でリフトのデモ機を体験(利用者も一緒に)

愛媛県介護実技普及指導員の ノーリフティングケアの目的

利用者の生活支援すべてを

「トータルセーフティケアで行うこと」

- * 24時間ずっと続く利用者の生活
安全に安心して過ごせるように
- * 利用者に関わる職員が
安全に安心して介護ができるように

ノーリフティングケア
＝トータルセーフティケアの一部と捉えている

ノーリフティングケアの目的は？

利用者・介護者

双方の安心・安全

➡ **負担軽減**

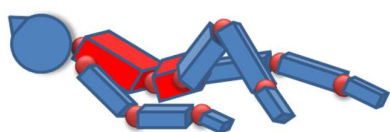


介護者の負担軽減として、 腰痛予防

利用者の負担軽減は・・・？

二次障がいを起こさない

- ベッドに横になることで、ぐっすり眠れている？



- * 日中、ゆったり過ごせている？
- * 夜、ぐっすり良い睡眠がとれている？

- 座ることで楽に過ごせている？

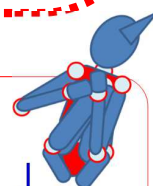


- * きちんと座って食事やレクリエーションを楽しんでもらえている？
- * ゆったりのんびり過ごしてもらえている？

介護者によって

「動けないからだ(廃用症候群)が作られているのではないか？」

と考えたことがありますか？



どちらに時間とお金をかける？

A

拘縮が進まないような
ケアをする

褥瘡を予防するケアを
する

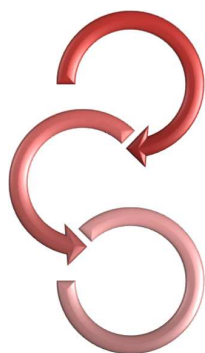
B

拘縮の進んだからだの
着脱や排泄介助

褥瘡ができているからだに
気をつけながらの介助

- ・利用者のからだを動かす時、無理に持ち上げたり、ずらしたりしていませんか？
- ・利用者の潜在能力を活用していますか？
介護者の都合で動かしていませんか？
- ・からだの隙間にポジショニングピローを入れればそれで良いのでしょうか？

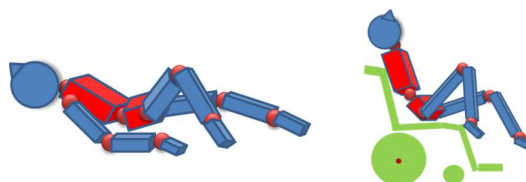
負のサイクル



● 利用者の
硬くなった
動きにくい身体

● 介護者の仕事量 ↗

● 双方の負担 ↗



このような状態になれば
利用者だけの負担に止まりません

介護者も・・・

硬くなった、動きにくい身体に

気を配りながら、時間をかけ、

(表皮剥離させないように、

関節を痛めないように、打撲させない

ように、誤嚥させないようにetc・・・)

ますます仕事量は増え、

負担は大きくなります

個々の利用者の・・・

- **できる部分**
- **福祉用具の力を借りる部分**
- **介護者の手をかす部分**



しっかり **把握** しておきましょう

ノーリフティングケアとは

福祉用具を導入して
移乗や移動など動きのある行為だけを
見直すことではない
(ベッド⇄車いす⇄トイレ、ベッド上での移動など)

姿勢や表出されない感情を考えられること
利用者の生活すべてに**安心・安全の意識**を持つこと
そして、**自分たちのところとからだも守る**
安全に安心して暮らし続けるための考え方

このままの介護を続けていく
利用者・介護者双方のリスクを考える

- このままの介護の継続⇒どうなっていくか
- 現状を正しく把握する⇒課題が明確になる
- なにをすべきか、事実を正しく認識・分析する
- だれがどう動くか、適材適所と+αの期待
- 理解度の違い⇒自分の理解は本当に正しい？



- チームワークが大切⇒多職種連携
- チームアプローチができるようになる



利用者・介護者双方の安心・安全につながる

ノーリフティングケアを進めたいのはなぜか
【目的】をはっきりさせる

- ◎自分たちの施設・事業所全体で考える
 - ・「介護」とは
 - ・利用者本位とは？
 - ・自分たちのアイデンティティは？

中心になって動くメンバーが必要



そのためには、メンバーが気兼ねなく活動できる体制を整える



- ◎ 施設・事業所全体で共有できていること
- ◎ 介護現場だけでなく、管理者・事務など全ての職種

「目的」のために必要な計画を立てる

- ・目標を設定
経営：単年度、中・長期経営計画
現場：それぞれの職種での支援計画の作成と共有
- ・リスクの洗い出し⇒分析⇒負担軽減
- ・対象者・家族等への説明と同意
- ・ケアプランに落とし込む
- ・介護計画を作成し、共有する
- ・作業標準とチェックリストの作成
- ・モニタリング(いつでもなんでも気軽に言い合えること)



介護におけるチームの役割と重要性

介護におけるサービスの多様性

利用者: **複数の生活上の課題**を抱えている



チームアプローチの必要性

(チーム: 医療・看護・保健・介護・総務など)



多職種連携・協働を進めていくには



多様なサービスの**一体化**

それぞれの専門職による**援助の過程の共有**

私たちは**日常生活の支援**をなんのために
しているのでしょうか?
早くするため? 褥瘡予防? 拘縮予防?

その時の対象者の状態は?

・表情(気持ち)・傾き・重み・ねじれ・筋肉の緊張

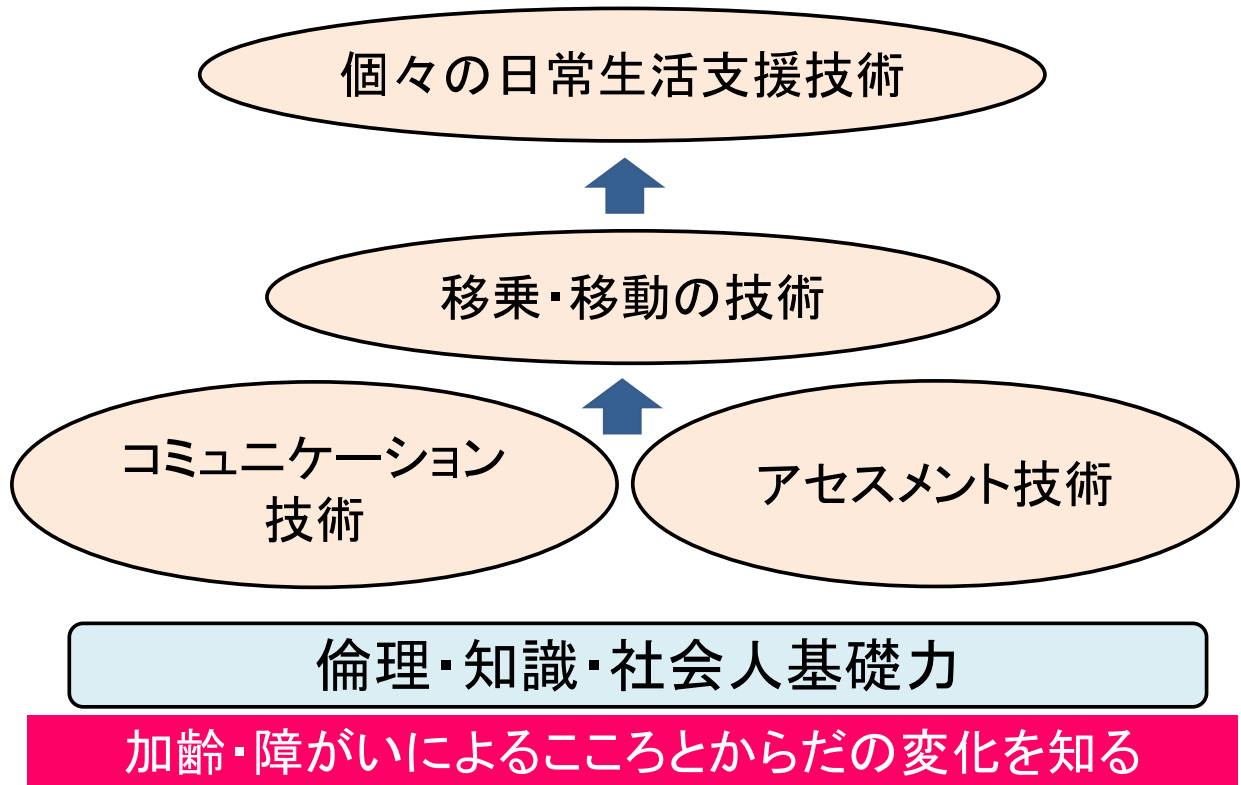


重要! アセスメント・支援計画、モニタリング



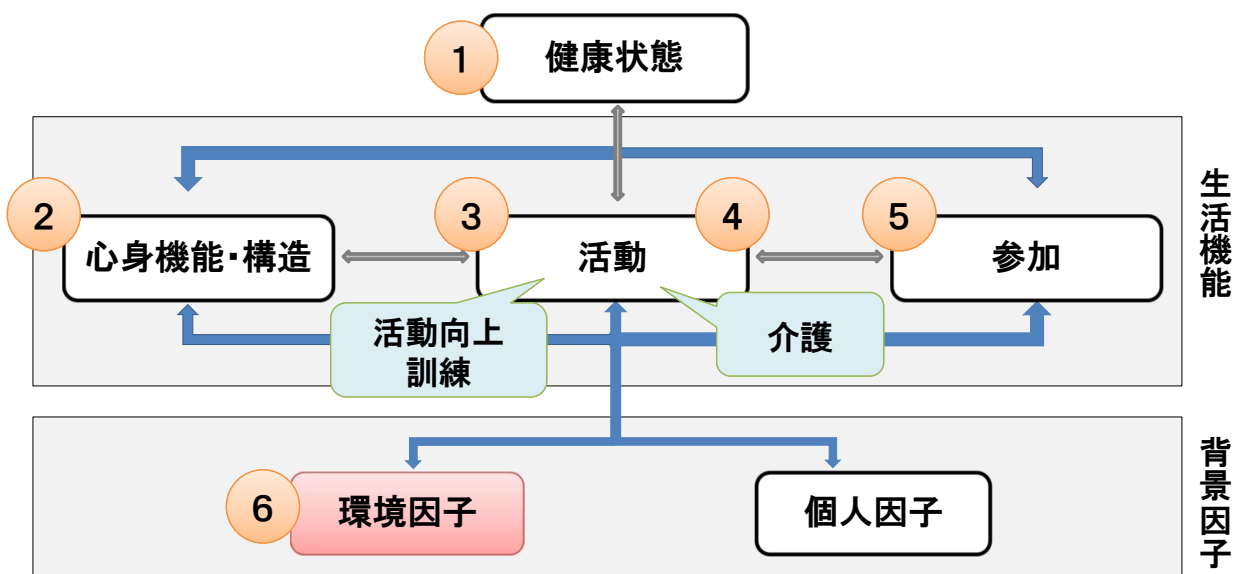
* 本当の意味での尊厳ある介護を!
* 表出されない感情やからだへの影響を考える
日常生活の支援を!

日常生活を支える基礎的な技術の構造



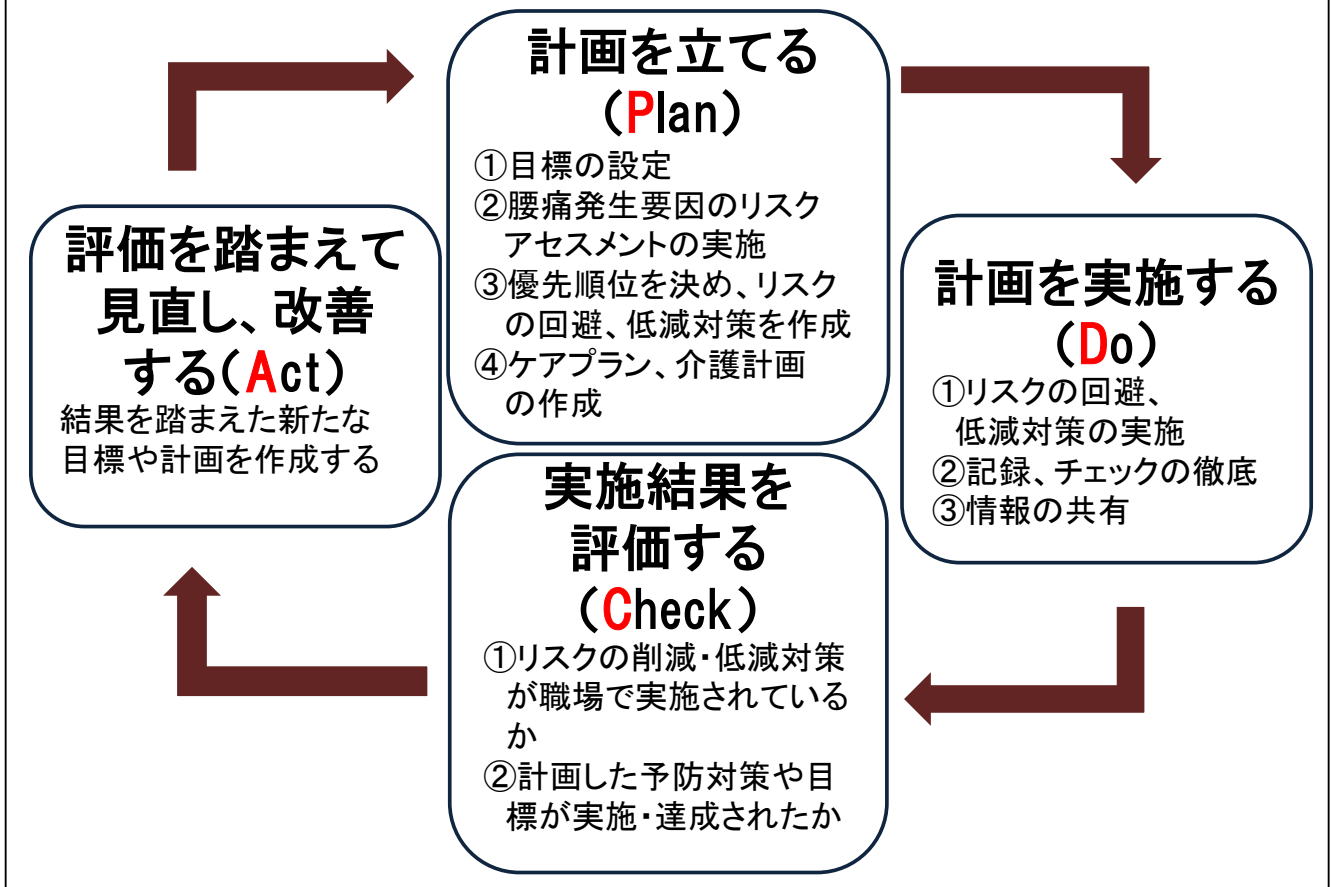
ICF: 国際生活機能分類 (WHO:2001)

ICFの構成要素間の相互作用

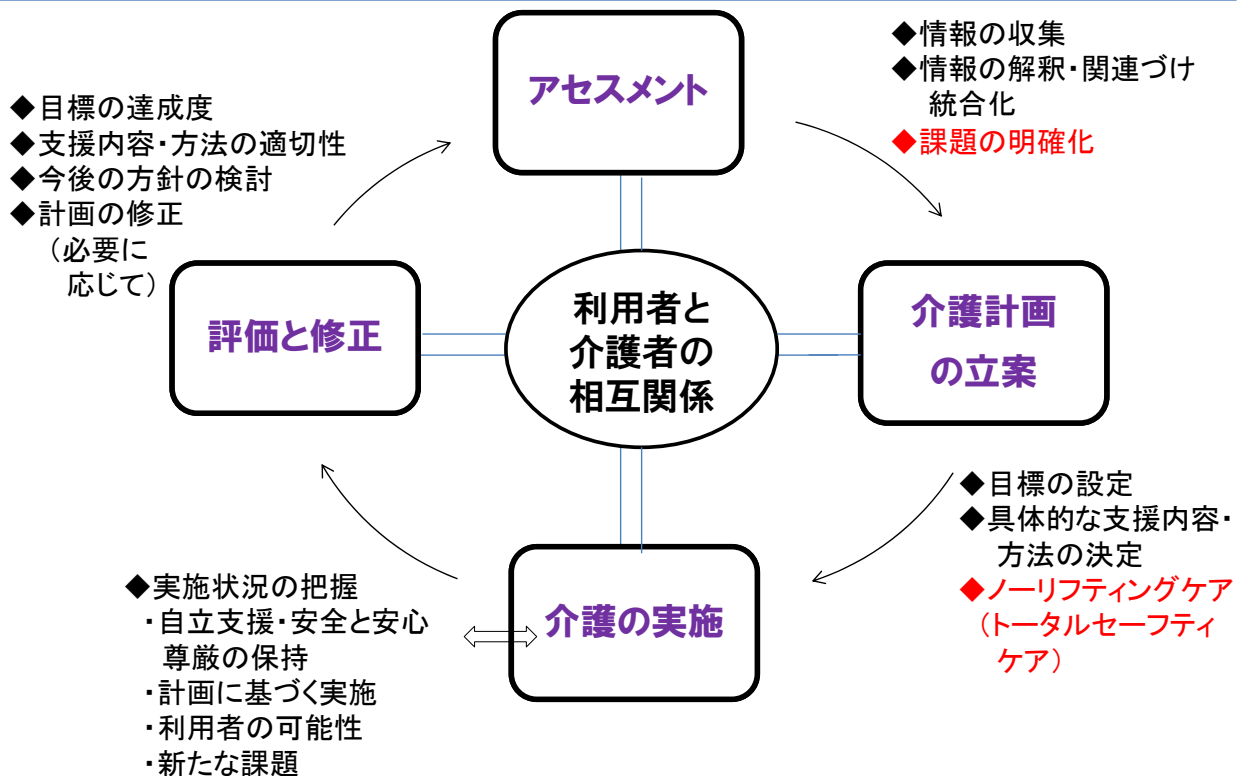


- ① 医療との連携・看護
- ② 機能回復訓練・基本動作訓練など
- ⑤ 社会参加促進・支援
- ⑥ **支援計画の質、リハ等の質 福祉用具、装具、住宅改修など**

ノーリフティングケアにおけるPDCAサイクル



介護におけるPDCAサイクル(介護過程)



うまく進まない時 「目的」に戻ってみてください

自分たちの
ノーリフティングケアの目的は？

数年後の自分たち、利用者さんたち
想像してみてください



ご清聴ありがとうございました